

Case 6-2018**A 35-Year-Old Woman with Headache, Subjective Fever, and Anemia***(N Engl J Med. 2018 Feb 22;378(8) 753-60)***【患者】** 35歳女性 **【主訴】** 頭痛、熱感、貧血**【既往歴】** 9年前に Crohn 病と診断。インフリキシマブとアザチオプリンで治療。

7年前にサイトメガロウイルス腸炎になり、インフリキシマブ単剤での治療に変更。

2年前に内視鏡で持続炎症の所見が見つかり、ベドリズムアブでの治療に変更。8日前には糞便中のカルプロテクチン(炎症性腸疾患マーカー)高値であり、ベドリズムアブが増量された。

3か月前に原発性硬化性胆管炎と診断されたが、肝合成能に問題はなく、MRCPでも肝内外胆管に明らかな狭窄部位は見られなかった。

4週間前に不妊に対してFSHの投与および子宮内受精を行った。しかし現在妊娠はなく、最終月経は2週間前より始まり普通の月経より量も多く、期間も長かった。

【内服薬】 ベドリズムアブ(潰瘍性大腸炎および Crohn 病に適応のある生物学的製剤。日本では未承認) セチリジン(抗ヒスタミン薬)

プリネイタル(妊娠に必要なマルチビタミン。葉酸、鉄分、亜鉛などを含む)

【アレルギー】 なし**【社会歴】** 飲酒: 減多にない、喫煙: なし、違法ドラッグ使用なし

アジアインド系アメリカ人で、ニューイングランド在住であり、エンジニアとして勤務。

【sick contact】 入院10日前に3歳の幼稚園に通う息子が発熱、顔の紅斑があったが、医療機関を受診することはなく2日後には軽快。**【現病歴】** 入院7日前に頭痛、疲労、筋肉痛が現れ始めた。その後2日間気分が悪く、アセトアミノフェンを服用しても頭痛が改善しなかった。入院5日前に体熱感を自覚したが、家で測った体温は37.8°Cであった。1日の排便回数が普段は1~3回なのが5~8回へと増加し、便の色は茶色なままではあったものの、軟便で時々少量の粘液や血が混じっていた。

入院2日前にかかりつけ医を受診したところ、Hb値が6週間前には13g/dLだったものが8g/dLと低下しており、かねてより診断されていた Crohn 病の再燃との診断でプレドニゾンおよび輸液の投与が行われた。入院1日前にHb値は7g/dLと低値なままであり、前医とは別の消化器科のかかりつけ医からプレドニゾンの中止および当院救急科への紹介がなされた。

当院救急科来院時には、患者は持続する頭痛、疲労、筋肉痛を訴えたが、労作時呼吸困難や動悸はなかった。

【入院時所見】**Vital Sign:** 血圧 103/66mmHg, 脈拍 96回/分, 呼吸数 18回/分, 体温 36.7°C, SpO2 100%(room air)**General:** 覚醒しており見当識も保たれている**HEENT:** 眼球結膜黄染なし、眼球結膜蒼白、咽頭に異常所見なし、頸部リンパ節腫脹なし**Chest:** 心音整、雑音なし

Abdomen: 平坦・軟、腸蠕動音正常、圧痛なし、脾腫なし

Extremities: 浮腫なし、発疹、点状出血、紫斑、くも状血管腫、手掌紅斑いずれもなし

直腸診: 茶色便、便潜血陽性

【検査所見】

Table 1. Laboratory Data.*		
Variable	Reference Range, Adults†	On Admission
White-cell count (per mm ³)	4500–11,000	9.7
Differential count (%)		
Neutrophils	40–70	32.8
Lymphocytes	22–44	51.2
Monocytes	4–11	3.4
Eosinophils	0–8	12.6
Platelet count (per mm ³)	150,000–400,000	345,000
Hematocrit (%)	36–46	18.1
Hemoglobin (g/dl)	12–16	6.6
Mean corpuscular volume (fl)	80–100	90.0
Mean corpuscular hemoglobin (pg)	26–34	32.8
Mean corpuscular hemoglobin level (g/dl)	31–37	36.5
Red-cell count (per mm ³)	4,000,000–5,200,000	2,010,000
Red-cell distribution width (%)	11.5–14.5	13.6
Reticulocyte count (%)	0.5–2.5	<0.5
Fibrinogen (mg/dl)	150–400	329
Alkaline phosphatase (U/liter)	30–100	101
Bilirubin (mg/dl)		
Total	0–1.0	1.1
Direct	0–0.4	<0.2
Alanine aminotransferase (U/liter)	7–33	18
Aspartate aminotransferase (U/liter)	9–32	36
Lactate dehydrogenase (U/liter)	98–192	408
Ferritin (μg/liter)	10–200	1036
Iron (μg/dl)	30–160	226
Iron-binding capacity (μg/dl)	230–404	232

電解質異常なし

血糖、TP、Alb、葉酸、ビタミン B₁₂ 正常

HIV-Ag/Ab 陰性

<尿定性・尿沈渣>

比重:1.003(基準値 1.001~1.035)

pH:6(基準値 5~9)

尿糖、潜血、タンパク、ビリルビン、ウロビリノーゲン陰性

入院後、赤血球輸血 1 単位投与され、診断的検査が行われた。

●Problem List を挙げてください。

●鑑別診断および必要な検査（特に貧血に着目して）を挙げてください。